

佳作

はじめのほっぴょうかい

茨城県 つくば市立竹園西小学校一年 平沢 萌実

ちいさいときからわたしは、バイオリンがだいすきでした。六さいになったとき、やっとバイオリンをならいはじめました。

はじめは、おとがでるのがたのしくて、はやくきよくがひきたいなどおもっていました。

しかしきれいなおとをだすのはおぼろしくて、まいにちまいにちなんでもれんしゅうをしないでなりませんでした。

四がつからしょうがつにかようようになり、ますますまいにちれんしゅうをするのがたいへんになりました。

三じ三十ぶんごろにかえてきて、おやつをたべるとねむくなりねてしまったり、ときにはおともだちとあそんだり、だんだんとれんしゅうをするじかんがみじかくなりました。

そんなとき、せんせいからはっぴょうかいのおしらせをいただきました。

わたしは、がんばってでてみようとおもいました。

きよくは、ウェーバーのかりゅうどのがっしょうをひくことになりました。

はじめは、おんぷをよむこともおぼろしくてとまってばかりいました。

だんだんとはっぴょうかいのひがちかづいてきました。まだあまりじょうずでないわたしは、よるおそくなってもれんしゅうしなくてはなりませんでした。

ねむたくても、つかれても、なきながらまいにちれんしゅうをしました。

どうやったらきれいなおとがでるのかな。なんどもなんどもくりかえしていやにな

りましたが、きれいなおとがでたとき、うまくひけたとき、とてもうれしくなりました。

そしてはっぴょうかいがたのしみになりました。とうとうはっぴょうかいのひがきました。りぼんのかみかぎりをつけてもらい、ブルーのドレスをきて、すこしおねえさんになったきぶんになりました。

ぶたいのうえにあがると、おねがどきどきしました。ひろいそうげんのようにひきています。とてもきれいなひろいうみでひいているみたいにおもえました。

ひきおわると、たくさんのはくしゅをもらいました。

とてもきもちよくてはればれとしたきもちになりました。

これからもきれいなきよくをたくさんひきたいので、もっとじょうずにひけるようにまいにちれんしゅうをしようとおもいます。